

(様式3) 【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	隠岐の島町立五箇中学校		
学 年	主な教科等	主に関わる单元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	家庭	保育（ふれあい食体験）	保育園、役場栄養士
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の特徴を理解し、関わり方を工夫して幼児と関わるができる。 ・ 農業体験を通じ、食事をする事への感謝の心を育て、幼児と中学生がお互いを思いやりながら活動することで心の健全育成を目指す。 		
<p>1 取組の概要</p> <p>① 幼児の心身の発達の特徴について学習する。</p> <p>② 保育園児と一緒にさつまいもを植え、中学生が考えた遊びで交流する。（交流1回目）</p> <p>③ 幼児との交流を振りかえり、幼児とのかかわり方について考える。</p> <p>④ 2回目の交流に向けて、幼児の楽しめるおもちゃを考えて作る。</p> <p>⑤ 収穫したさつまいもを使って一緒に調理・会食をし、製作したおもちゃで遊ぶ。（交流2回目）</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <p style="padding-left: 40px;">同じ地域の幼児と交流することで、地域とのつながりを深め、地域への貢献につなげていく。</p> <p style="padding-left: 20px;">（学力育成の視点から）</p> <p style="padding-left: 40px;">学習したことを生かし、幼児への接し方や楽しめるおもちゃについて考え、実践する場を設定した。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <p style="padding-left: 40px;">1回目の交流でうまく関われなかった生徒も、2回目の交流では関わり方を工夫し、幼児と会話をしながら活動する姿が見られた。</p> <p style="padding-left: 40px;">保育園が近くにあるので、交流後、近くを通過して姿を見たときに声をかけたり手を振ったりする姿も見られた。</p> <p style="padding-left: 20px;">（学力育成の視点から）</p> <p style="padding-left: 40px;">1回目の交流を振り返り、どのようなかかわり方がいいのか、どうしたら幼児を楽しませることができるのか、自分たちで考えて2回目の実習に活かすことができた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p style="padding-left: 20px;">生徒会活動でも保育所にはペットボトルのキャップ集めに協力いただいている。近いという立地を生かし、他の場面でも交流の機会を増やしたい。</p> <p style="padding-left: 20px;">異世代との交流として、高齢者と関わる機会も設定したい。</p>			



※取組の様子がわかるような画像(1枚が500kb以下)を数枚貼り付けてください。

※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。